

令和7年度 夏季総合体育大会硬式テニス競技大会選考会要項

- 1 主 催 国頭地区中体連 国頭地区中学校硬式テニス夏季総合体育大会選考委員会
- 2 期 日 令和7年5月31日(土)・6月1日(日) 9:00～ ※6/1(日)は予備日
- 3 会 場 今帰仁村総合運動公園テニスコート
- 4 実施競技 硬式テニス
- 5 参加資格 (1) 国頭地区中学校体育連盟に加盟している学校の生徒であること。
(2) 学校長が選手として本大会に出場を許可したものであること。
(3) 引率は出場校の校長／教員とする。監督については教職員(常勤)とする。教職員以外のコーチについては学校長が認めた者で、地区・県中体連に氏名登録された者とする。
- 6 表 彰 選考会なので表彰は行わない。日程終了後、閉会集会を行い派遣される選手を発表する。
- 7 対抗形式 (1) 個人戦：ダブルス、シングルスを行う。
※シングルス、ダブルス共にリーグ戦とする。参加人数が多い場合トーナメント方式もある。
※個人戦のシングルスとダブルスは兼ねて出場できない。
- 8 監督会 大会当日 9:00～ 今帰仁村総合運動公園テニスコート
- 9 抽 選 本部抽選
- 11 ルール・審判 夏季総合体育大会硬式テニス競技大会選考会「運営規定」に準ずる。
- 12 傷害処置 選考会期間中の傷害は、各学校(チーム)において対応する。

令和7年度 夏季総合体育大会硬式テニス競技大会選考会

1 期日・進行

- (1) 期日：令和7年5月31日(土) 9:00～ (8:45集合) ※予備日(6/1日)も同時刻に実施予定
ユニホーム又は体育着で参加、オリジナルTシャツ着用については相談
- (2) 場所：今帰仁村総合運動公園テニスコート
- (3) 競技進行予定(ドロー及び進行状況、天候などにより変更もありうる)

2 企画運営 (名護中学校：伊波 保 ・平 哲也)

3 競技方法について

- (1) 競技は個人戦(シングルス・ダブルス)を行う。
- (2) 試合はすべてリーグ戦方式にて行う。
- (3) 個人戦については、下記の通りとする。
 - ① 個人戦はシングルスとダブルスを兼ねて出場することができない。
 - ② 1セットマッチ、ノーアドバンテージルールで行う。
連続試合の場合10～15分のレストを置く。
- (4) ノーアドバンテージルールでは、40-40の時点で[デュース]ではなく[フォーティオール]となり、次のポイントを取った方がそのゲームの勝者となる。またこのときレシーバーは左右どちらのサイドでレシーブするかを選択することができる。
- (5) 天候や進行状況等により短縮ルールを適用することがある。

4 競技進行について

- (1) 番号の小さい方の選手が第2試合目に組まれた時点で、速やかにボールを大会本部へ取りに行く。
- (2) 選手は試合開始のとき、審判用紙に自分の名前をサインし、対戦相手を確認してから試合を開始する。
- (3) 番号の小さい方の選手が、本部側のベンチを使用する。
- (4) 試合前の練習は、「サービス4球のみ」とする。空きコートになっても、ウォーミングアップをしてはいけない。
- (5) 1ゲーム目のエンドチェンジの時には、ベンチでレストをとることはできない。ただし、水分補給は行ってもよい。
- (6) 試合中、選手はいかなる外部からのアドバイスも受けてはならない。
- (7) エンドチェンジの際のレストは90秒以内とする。
- (8) ポイント間の時間は25秒以内とする。
- (9) 試合中、試合の邪魔にならないよう、隣のコートへは絶対に入らないこと。また、物を落としてはならない(試合の妨げになる)。
- (10) 試合で負けた選手は次の試合の審判を行う。尚、第1試合の審判は本部で割り当てし生徒に連絡する。
- (11) 試合の勝者はゲームカウントを確認してからサインをし、審判用紙とボールを持って本部へ報告する。

5 審判について

(1) セルフジャッジとする（『JTA TENNIS RULE BOOK』の「4. チェアアンパイアがつかない試合方法」を原則採用）。以下、簡易的に紹介する。

- ① サーバーはサーブを打つ前、レシーバーに対して聞こえる声でスコアをアナウンスする。
- ② ネットより自分側のコートについて判定をする。ボールを見失って判定できなかった時は「グッド」である。（あやふやなときは「グッド」とする）
- ③ 判定とコールは、相手に聞こえる声と、相手に見えるハンドシグナルを使って速やかに行う。
- ④ ダブルスの判定とコールは、1人のプレーヤーが行えば成立する。しかし、ペアの判定が食い違った場合には、そのペアの失点となる。
- ⑤ 令和7年度より中体連の大会もノーレットルールを採用する。サービスのレットを採用せず、サービスがネット、ストラップ、バンドに触れたとしてもインプレーとする。また、どの試合形式でも正しいレシーバーのみが返球できることとする。

以下、教育的配慮のために大会独自に設定したルールとする。

- ⑥ コート審判をおく。次の試合の選手が審判をする。
- ⑦ コート審判は、原則としてその試合の記録のみを行なうが、明らかなミスジャッジの場合はオーバールールを適用し、ジャッジすることができるものとする。選手および観客は、コート審判に対し、クレームをつける権利はない。
- ⑧ ゲームスコアが分からなくなった場合などの競技上のトラブルは選手同士で解決しなければならない。但し、コート審判は両選手に依頼をされた際、その話し合いに参加できる権利を有する。選手同士・コート審判の三者でも判断が難しい場合は、コート審判が速やかに本部へ連絡する。
- ⑨ コート審判は次の試合にそのコートで試合する選手が行うこととする。ただし、試合の進行状況によっては、コートの変更がある。

6 服装・容姿について

(1) 選手は試合の際、「テニス用ゲームウェア（ユニフォーム）」、テニス用シューズ・ソックスを着用する。ただし、体育着での参加も選考会については認める。県大会はゲームウェアでの参加とする。

(2) 出場選手はゼッケンを着用。

7 沖縄県夏季総合体育大会について

男子：シングルス上位4名、ダブルス上位4ペア

女子：シングルス上位4名、ダブルス上位4ペア を沖縄県夏季総合体育大会に推薦